令和7年度版 光村図書出版株式会社 中学校外国語科 英語 教科書

Here We Go!

ENGLISH COURSE



編集の
趣旨と特色

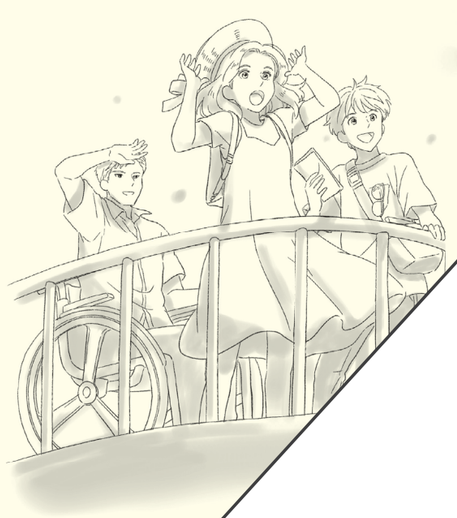
内容解説資料　本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村図書

Grow with every new step!

互いの違いを尊重し、
ともに考え、
よりよい未来を
切り開いて
いけるように





次世代を担う子供たちには、
予測が困難な社会の中で
さまざまな変化に積極的に向き合い、
互いの違いを尊重し、他者と協働しながら
新しい価値を創り出すことが求められています。
この教科書で学ぶ子供たちが、
外国語を学ぶことで広がる世界を楽しみ、
自信をもって新たな一歩をふみ出せるように、
また、間違いを恐れずに
世界の人とコミュニケーションを図り、
ともに考え、よりよい未来を切り開いていけるように
という願いを込めて、教科書を編集しました。

“ともに学ぶ楽しさが、一人ひとりの力になる”

生徒が学びの主役になる、光村図書の英語教科書

［目次］

はじめに

学びの原動力になる！ **Here We Go! のストーリー** …… 02

新版の3つの特色

特色 1 **英語を使う力がつく**〔新しい教科書の構造と系統〕 …… 07
- Unit等主教材
- 教科書の構成と使い方／CAN-DO List

〈参考資料〉領域別の単元系統と、*Here We Go!* が育てたい力 …… 14

特色 2 **自ら学ぶ態度が育つ**〔学び方を工夫・改善するためのガイドが充実〕 …… 20
- 既習事項を自己表現に生かすヒント
- 「英語の学び方ガイド」
- 「思考の地図」
- 「学びのサイクル」

特色 3 **学びを社会生活や未来につなぐ**〔「自分ごと」にできる題材〕 …… 24
- Let's Read
- Daily Life
- World Tour
- SDGsや他教科に関わる題材

学校現場での課題に対応した、教科書の工夫等

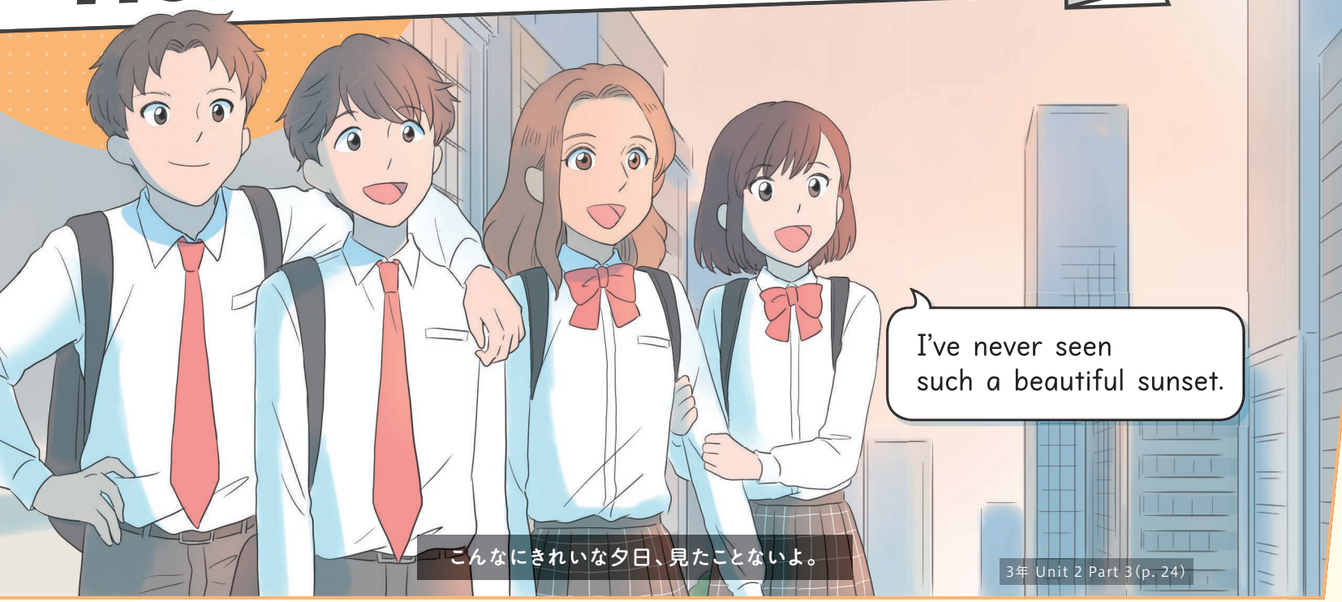
課題 1 小中接続 …… 30
課題 2 高校入試などで求められる力の育成 …… 32
課題 3 令和の日本型学校教育とICT活用 …… 34
課題 4 その他の今日的教育課題に対する編集上の配慮 …… 36
教科書基本データ …… 37

学習者用教材・指導書・指導用教材等 …… 38



学びの原動力になる！

Here We Go!のストーリー



3年 Unit 2 Part 3（p. 24）



Snapshots from Book 1

1年 Unit 1 Part 2「春は好き?」(p. 30)

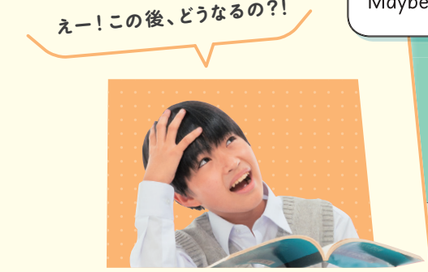


生徒の心をつかんで離さない リアルなせりふや展開は、光村図書だからこそ

光村図書は、30年近くストーリーを中心に学ぶ英語教科書を発行しています。その過程で、中学生の気持ちや言いそうなこと、中学生同士の間でよく起こる出来事を調査したり、教科書で学ぶ生徒や先生の声を数多く集めたりしてきました。同時に、英語表現としての自然さと教材としての適切さを追求して、本文を執筆しています。

Snapshots from Book 2







2年 Unit 7 Part 3「本番2日前に…」(p. 96)

3年間いっしょに学ぶ友達ができる

4人のキャラクターが、3年間でさまざまな出来事を経験し、互いの考えや気持ちを伝え合います。長所だけでなく、苦手なことや悩みも描かれる等身大の中学生のキャラクターは、この教科書で学ぶ生徒たちにとって仲間ような存在として、学びの原動力になります。

新登場のキャラクターが、さらに彼らの世界を広げます

NEW



David

ニューヨークの高校に通う。Tinaの幼なじみで、憧れの人。

NEW



Ms.Thusi

南アフリカ共和国出身のALT。世界中に友人がいる。

苦手なことや悩みもある、だから共感できる



Kota

引っ込み思案な性格だったが、Tina たちと過ごす中で変化が。



Tina

アメリカ出身。明るい性格だが、落ち込むときもある。責任感が強い。



Eri

勝ち気な性格で、強く言い過ぎてしまうことも。好奇心は人一倍。



Hajin

韓国からの転校生。クールに見えるが心は熱く、頼りにされている。

Nick



Tinaの弟。あることをきっかけに、Kotaを慕うようになる。

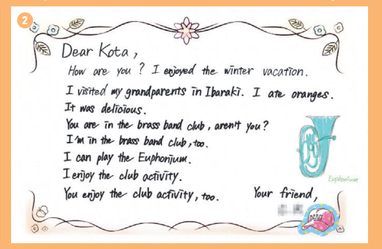
TinaやNickは、光村図書の小学校教科書にも登場します。



Happy Birthday, Tina!



I'm in the brass band, too.



令和3年度版に対する

生徒からのメッセージも続々！

1. 2月14日のTinaの誕生日に合わせて編集部宛に届いた、中学1年生からのメッセージ。
2. 吹奏楽部所属のKotaに、自分の楽器について教えてくれた生徒も。

WE RECOMMEND

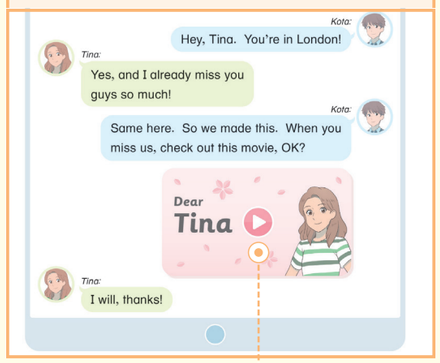
編集部イチ押しエピソード

3年 Unit 8 Goodbye, Tina（pp. 97-101）

Tinaとのお別れの日



ロンドンに着いたTinaに、Kotaたちからサプライズが…！



KotaたちがTinaに送ったムービーはこちらから

編集部より

Kotaたちが旅立つTinaにプレゼントしたのは、EriとHajinが作詞、Kotaが作曲をした歌でした。この**オリジナルソング Here We Go!** の歌詞には、Tinaとの思い出や、彼ら4人の未来への希望が込められています。卒業を控えた生徒の皆さんに、ぜひくり返し聞いたり歌ったりしていただけたら幸いです。



Here We Go! のストーリーが 英語の学習に 効果的な理由

理由 1 英語を使う目的・場面・状況がわかりやすい

理由 2 夢中になって読める、何度も読みたくなる。くり返し触れて、頭に残る

理由 3 話題が「自分ごと」になり、発信につながりやすい

楽しくて、力がつく。それがこの教科書のストーリーなんです！

太田 洋
編集代表／東京家政大学教授



BREAKING NEWS

あの大人気ドラマが、教科書のQRコードから見られるように！

令和3年度版教科書をお使いの皆さんから大好評をいただいている実写ドラマ。新版の内容に合わせて撮り下ろし、家庭学習でも活用できるよう教科書のQRコードから視聴できるようにしました。



1年 Unit 2 実写ドラマ（QRコンテンツ）

Eri and Kotaと学ぶ基本文

キャラクターといっしょに、基本文の形や使い方を確認する

つまずきやすいポイントに気をつけながら、文法を理解するためのアニメーションです。学習者がキャラクターの会話に参加できるようになっており、知識だけでなく、技能（英語を使う力）も同時に身につきます。



1年 Unit 2「Eri and Kotaと学ぶ基本文」（QRコンテンツ）

ストーリーを楽しみながら、

“基礎・基本を身につける”

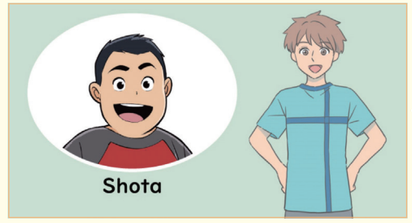


1年 Active Grammar 3（p. 95）

Active Grammar ミニアニメ

キャラクターに、自分のことを伝える

キャラクターの話を聞いた後に、生徒自身が自分のことをキャラクターに伝えるつもりで話したり書いたりする練習ができます。ミニアニメで個別に練習させた後、生徒同士のやり取りにつなげるのも効果的です。



About You Nick が、自慢の友達について話してくれました。あなたも、p. 86 の Nick のせりふや上の例文を参考に、Nick に伝えるつもりで、友達を紹介しましょう。QR

Extra Story

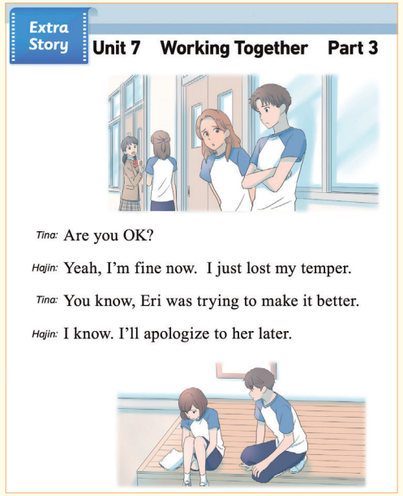
「続きが気になる」気持ちに応える

ストーリーの番外編を描いた、楽しいおまけのリーディング教材を各Unitに1つ配置しました。「続きが気になる」気持ちを原動力に、推測をはたらかせながら読み進める力が自然と育ちます。



2年 Unit 7 Part 3(p. 96)





2年 Unit 7 Extra Story(QRコンテンツ)

ストーリーを楽しみながら、

“思考力・判断力・表現力を磨く”

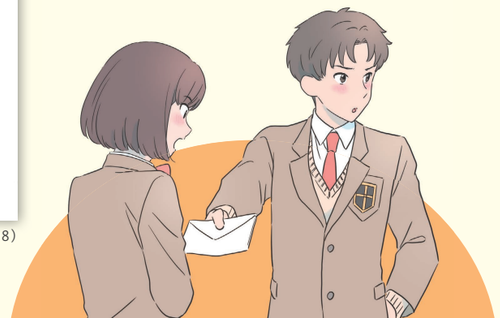


2年 Unit 8 Goal(p. 108)

Goal活動

登場人物になりきって発信することを楽しむ

好きなキャラクターのこととなると、生徒は伝えたいことがどんどんわいてくるようです。UnitのGoalには、登場人物になりきって発信することを楽しむ活動を多数用意しました。



新版の特色 1

英語を使う力がつく

〔新しい教科書の構造と系統〕



POINT

生徒にたくさん英語を使わせる
全体構成は現行版そのままに、
「くり返し触れ、くり返し活用すること」
の観点で各単元の構造や系統を整理し、
より着実に英語を使う力が身につくようにしました。



「活用できる知識」の定着のために、くり返しが大切です。

向後 秀明 編集委員／敬愛大学教授

中学校英語において、文法事項や語彙の指導はとても大切です。その上で先生方にお伝えしたいのは、文法や語彙を、実際の場面で活用できる知識として定着させる指導の重要性です。2023年度実施の全国学力・学習状況調査(学テ)の結果などからは、アウトプットに使える文法や語彙が少ないことが明らかになりました。

ポイントは、①言語材料はその「使用場面」「働き」を結びつけて指導すること、②使用する言語材料が提示されない状況でも①での学びを生かしてくり返し言語活動を行うことです。

新版教科書では、より①②を推進するため、「くり返し」をキーワードに徹底的にシラバスを見直し、活動や紙面を再構成しました。

第二言語習得の理論に沿って、くり返し英語を使いながら学び、
「できるようになること」に向かって学習・指導を改善する

Unit

1年間の学習の軸となる単元です。豊富なインプットから少しずつアウトプットに進む、
第二言語習得の理論に沿った学習の流れを紙面化しています。
Unitの途中に、到達目標を特に意識したヒントを示し、学習・指導の改善をしやすくしました。

扉　第1時

- 単元の話題について話す
- 本文全体を聞き、話の大筋をつかむ

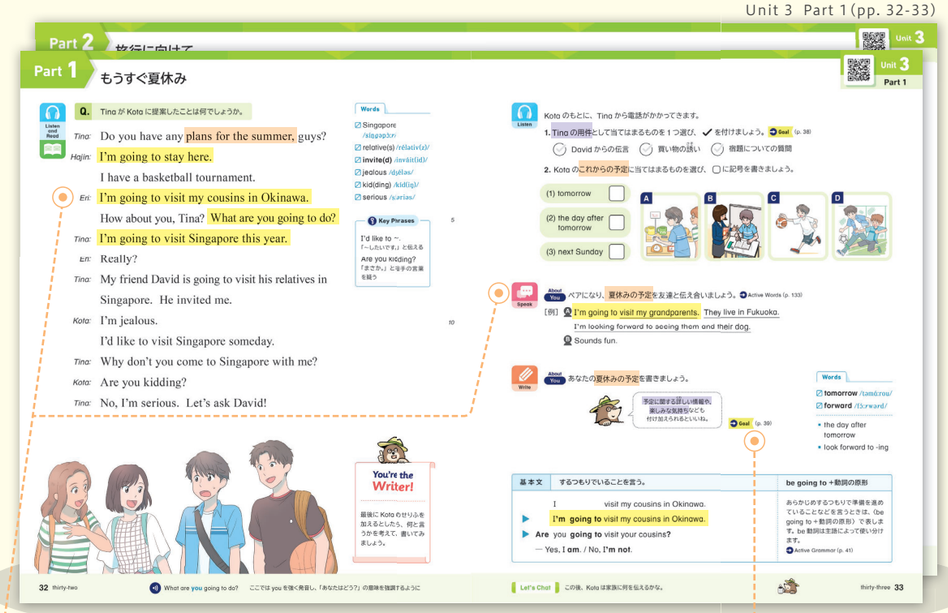
2年 Unit 3　扉(p. 31)



Part　第2～7時※1

- 目的に応じて本文を読んだり、詳細を理解したりする
- 本文の発音と綴りを一致させ、音読する
- 場面に沿って、基本文を使う練習をする

Unit 3　Part 1(pp. 32-33)



Goal　第8～9時※2

Goal　CAN-DO　メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる。
ふり返り　CAN-DO　用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。

- 単元の目標に応じた言語活動に取り組む
- 単元の学習をふり返る

Unit 3　Goal(pp. 38-39)



“教科書を行ったり来たり”しながら、スパイラルに学びます

ポイント1　ページ左側のストーリーと、右側の活動とで、「使用場面」「働き」が一致した基本文を、くり返し練習

be going to の形と「予定を伝える」という働きがしっかりと結びつきます。

Tina: Do you have any plans for the summer, guys?
Hajin: I'm going to stay here.
I have a basketball tournament.

⟷ 一致

Speak
About You ペアになり、夏休みの予定を友達と伝え合いましょう。Active Words
[例] I'm going to visit my grandparents. They live in Fukuoka.

NEW ポイント2　Goalにつながるヒントで、学習・指導改善をしやすく

予定に関する詳しい情報や、楽しみな気持ちなども付け加えられるといいね。

Goal (p. 39)

いつもの本文読解や基本文を使う練習に、Goalへの足場をかける活動をプラスします。

NEW ポイント3　目的・場面・状況や、「中間ふり返り」のヒントを明示

目的・場面・状況

Idea Hunt
p. 34 の David のメールもふり返ってみよう。
詳しくは本書 p. 21

2 伝える内容や書き方を見直そう
- 用件が伝わるメールになるように、伝えたいことを整理できているかな。
- メールを受け取った David に、楽しみな気持ちが伝わるかな。

「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」につながり、3観点での評価もしやすくなります。

※1 Partの数は、1Unitあたり3つ（第2～7時で扱うこと）を基本としていますが、例外的に2つまたは4つのPartから成るUnitがあります。
※2 Goalは、2時間構成を基本としていますが、1年Unit 1～3は1時間構成にして、学習の負荷を下げています。

くり返し学んだことを生かして取り組む「まとめの活動」で、
到達目標の達成度合いを見取る

You Can Do It!

各学年３か所に、Unitで学んだことを生かして取り組むことができる、
まとめの活動を設定しています。「記録に残す評価」を行うことを想定して、
紙面やQRコンテンツに、さまざまな工夫を施しました。

〔 You Can Do It! と重点化領域一覧 〕

学年	単元	単元のまとまりごとの目標	You Can Do It! 活動タイトル	重点化領域
1年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	自分のことを伝え、相手のことをよく知る	友達の新しい一面を見つけよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	身近な人のことを紹介する	ゲストの魅力を伝えるMC になろう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	イベントや学校を紹介する	動画で学校の魅力を紹介しよう	
2年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	相手に合うプランを提案する	「わが町観光プラン」をおすすめしよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	自分の意見や考えを伝える	誰もが楽しめるイベントを提案しよう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	説明や描写をする	かるたで地域のPR をしよう	
3年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	話し合いの中で意見をまとめる	学校生活について意見をまとめよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	情報をもとに考えを整理して伝える	持続可能な社会に向けリポートしよう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	大切な人や自分に宛てて気持ちを表現する	自分たちのこれからに言葉を贈ろう	

学びがつながる！

Here We Go! を使った指導計画

〈2年4～7月を例に〉

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
自分の予定や希望、考えなどを、学習してきた文を用いて伝え合う。	**Unit 1** ●KotaやTinaの日記を読み、おおまかな内容や共通点を捉える。 ●出来事や感想などが詳しく伝わるように日記を書く。
	Unit 2 ●友達の話から、希望や大切なことなど、企画に必要な情報を聞き取る。 ●企画への希望や意見を詳しく聞き出したり、考えを詳しく伝えたりする。
	Unit 3 ●メールの用件や、返事が必要なことを読み取る。 ●用件や気持ちが伝わるように、伝えたい情報を整理して、メールの返事を書く。

You Can Do It! 1

留学生２人がいっしょに楽しむことができる観光プランを提案するために、留学生の自己紹介文からそれぞれの興味・関心や２人の共通点などの必要な情報を読み取り、伝えたい情報を整理して、考えたプランを書く。



2年 You Can Do It! 1（pp. 46-47）

NEW

ポイント1 Writingモデル／Speakingモデル

テンプレートに頼らない思考力・判断力・表現力を育成するため、紙面にはアウトプットのモデルとなる文章を掲載していません。代わりに、生徒が個別に参照できるモデルをQRコンテンツとして用意し、活動の助けになるようにしました。



Writingモデル



2年 You Can Do It! 2 Speakingモデル（QRコンテンツ）

NEW

ポイント2 テストにトライ！



テストにトライ！

▶詳しくは本書 p. 33

NEW

ポイント3 Look Back

Look Back

特につながりの強いUnitを示し、既習の内容をまとめの活動に生かしやすくしました。



COLUMN

新たな価値を生み出す人に

多様化、複雑化する現代社会。子どもたちは、答えが一つに決まらない問いにも向き合っていかなくてはなりません。だからこそ、他者の知恵を借りたり、協働したりする力が必要です。言葉を通して人とつながり、新たな時代の価値を創造できるように、豊かな感性とコミュニケーション能力を育む言語活動を充実させました。

2年 You Can Do It! 2（pp. 86-87）

ポイント4 学期のふり返りと評価について

You Can Do It! の活動目標は、各学期に設定された目標と対応しています。紙面で示されているのは、生徒のためのチェック欄ですが、指導書では、3観点の評価の参考となる単元ごとのルーブリックなど、先生をサポートする資料を用意しています。

評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	誤りの少ない適切な英語で自分の学校を紹介することができる。	学校の魅力について、聞き手を意識して内容を整理し、より詳しく具体的に紹介している。	学校の魅力について、聞き手を意識して内容を整理し、より詳しく具体的に紹介しようとしている。
B	コミュニケーションに支障をきたす重大な誤りはない英語で、自分の学校を紹介することができる。	学校の魅力について、聞き手に伝わるように具体的に紹介している。	学校の魅力について、聞き手に伝わるように具体的に紹介しようとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。

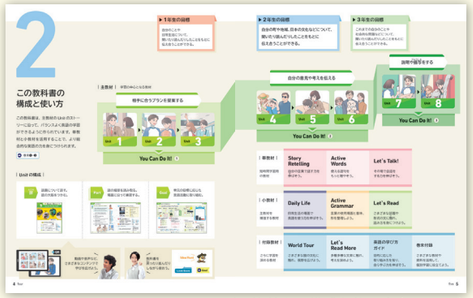
1年 You Can Do It! 3 ルーブリック例（指導書付属データ）

学年で「できるようになること」と学びの過程を明確に

教科書の構成と使い方 / CAN-DO List

巻頭「この教科書の構成と使い方」、
巻末「2年生ではどんなことをするのかな。」「CAN-DO List」で、
学年全体の目標と現在地がわかります。
また、目標に到達するまでの過程やこの先の成長イメージなど、
見通しをもって学習を進めることができます。

3学年の学びが見通せる
CAN-DO Listはこちら



2年 教科書の構成と使い方（pp. 4-5）



2年「2年生ではどんなことをするのかな。」（後見返し1）

CAN-DO List

2年の目標 自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

あなたはどのくらいできる？ ○で囲んでみよう　まだ難しい / 助けがあればできる / できる / 自信をもってできる

年に何度かはここに戻り、自分がどのくらいできるようになっているのかを自己評価して、次の目標を立てよう。

		領域別の到達目標（CAN-DO）	相手に合うプランを提案することができる					自分の意見や考えを伝えることができる					説明や描写をすることができる				2年の自己評価
			Unit 1	Unit 2	Unit 3	You Can Do It! 1	自己評価	Unit 4	Unit 5	Unit 6	You Can Do It! 2	自己評価	Unit 7	Unit 8	You Can Do It! 3	自己評価	
Listen 聞く	L-1	日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。		Goal / Unit 各 Part	Daily Life 3				Goal / Unit 各 Part		You Can Do It!		Unit 各 Part				
	L-2	日常的な話題を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。		Daily Life 2 / Unit 扉					Unit 扉				Goal / Unit 扉		You Can Do It!		
	L-3	日常的な話題や社会的な話題を聞いて、要点を捉えることができる。											Goal				
Read 読む	R-1	日常的な話題について書かれた文章から、必要な情報を読み取ることができる。			Goal	You Can Do It!		Goal					Daily Life 7				
	R-2	日常的な話題について書かれた文章を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。	Goal		Let's Read 1					Goal / Let's Read 2				Goal / Let's Read 3			
	R-3	日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章を読んで、要点を捉えることができる。													Let's Read 3		
Speak 話す（やり取り）	SI-1	自分のことや興味のあることについて、その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。		Goal / Unit 各 Part / Let's Talk!（帯教材）					Unit 各 Part / Let's Talk!				Unit 各 Part / Let's Talk!				
	SI-2	ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、やり取りすることができる。			Daily Life 1 / Daily Life 4				Goal / Daily Life 5, 6				Goal		You Can Do It!		
Speak 話す（発表）	SP-1	自分のことや興味のあることについて、その場で話すことができる。		Unit 各 Part					Unit 各 Part				Unit 各 Part				
	SP-2	ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。		Story Retelling（帯教材）					Goal / Story Retelling		You Can Do It!		Story Retelling				
Write 書く	W-1	自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、正確に書くことができる。		Goal / Unit 各 Part					Unit 各 Part				Unit 各 Part				
	W-2	日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。			Goal	You Can Do It!				Goal				Goal			

3年の目標 これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

2–3

2年 CAN-DO List（後見返し2-3）

NEW ポイント1

領域別の到達目標

その学年の目標の到達度を折に触れて自己評価し、次の学びにつなげることができます。

NEW ポイント2

重点化領域の設定

単元ごとに、重点的に指導と評価を一体的に行っていただきたい領域を設定しました。先生方の評価の負担を軽減しながら、単元のまとまりや学年で、バランスよく5つの領域の力を育成できます。



2年 目次（p. 2）

NEW ポイント3

継続して行いたい活動を見える化

毎Unitで行う活動や、帯活動で継続的に扱いたい教材（帯教材）の位置付けを、明確にしました。

「聞くこと」の系統とポイント

小中連携で、「曖昧さに耐える」「量に負けない」力を育てる

【 】内は単元名を示します。 U:Unit　YCDI:You Can Do It!　LBF:Let's Be Friends!　DL:Daily Life　LR:Let's Read

学年	音声を聞いて書かれた文字と一致させる力	必要な情報を聞き取る力		聞いておおまかな内容を捉える力		聞いて要点を捉える力
1年	●アルファベットを聞き分ける【LBF8】 ●音声を聞いて、書かれた文字と一致させる【Sounds and Letters（帯教材）】 	会話などから具体的な情報を聞き取る【Unit 各Part Listen】	●会話から、話し手についての情報を聞き取る【U1】 ●会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取る【U2】 ●会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る【U3】 ●会話から、人物の情報を聞き取る【YCDI1】 ●人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取る【U4】	小中連携で！ストーリーを聞いて、おおまかな内容を捉える【Unit 扉】	●場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉える【U8】  ●学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉える【YCDI3】	
2年			●友達の話から、企画に必要な情報を聞き取る【U2】 ●アナウンスから、必要な情報を聞き取る【DL3】 ●災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取る【U5】 ●町の人が必要としていることを聞き取る【YCDI2】		●ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉える【DL1】 ●ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉える【U7】 ●郷土かるたの絵札の説明を聞き取る【YCDI3】 	●（ポスター案の説明から、いちばん大切にしたことを聞き取る【U7】）
3年			●音声を聞いて、質問された内容に答える【DL1】 ●留守番電話の用件を聞き取る【DL2】		●講演を聞いて、おおまかな内容を捉える【DL4】 ●おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉える【U6】	●話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉える【U2】 ●スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉える【U7】

▶詳しくは「小中連携ガイド」の13ページ

ポイント1　基本文や本文中の表現をくり返し、まとまりのある英文の中で聞かせる

小学校の英語の授業を通して、英語を聞く力が育っている状態で、生徒が中学校に入学してきます。この力を生かし、さらに伸ばしていくため、Here We Go! のListenは、基本文をターゲットとして聞き取る活動であっても、未習語を含むまとまりのある内容にしています。わからない語句があっても諦めずに聞き、推測をはたらかせて概要を捉える、「曖昧さに耐える」「量に負けない」力を育てます。この力は、長文を読む力にもつながります。

be going toをターゲットにした音声スクリプト

=ターゲット文
=本文中の表現
=未習語

Tina: Hello, Kota. This is Tina.
Kota: Oh, hi, Tina.
Tina: Do you have any plans for tomorrow?
Kota: Tomorrow?
Tina: Yeah. I'm going to go shopping. I want to buy something for David. Can you come with me?
Kota: Sorry, but I'm going to go to *juku* tomorrow. How about the day after tomorrow?
Tina: The day after tomorrow?
Kota: Yes.
Tina: Oh, no. We're going to practice soccer with Nick, aren't we?
He's really looking forward to playing soccer with you!
Kota: Oh, that's right! Sorry, I forgot. How about next Sunday then? Do you have any plans?
Tina: No, nothing much.
Kota: OK. Let's go shopping next Sunday and look for a nice present for David.
Tina: Great. Thanks.

2年 Unit 3　Part1　Listen(p. 33)

「読むこと」の系統とポイント

ストーリーを楽しみ、ステップアップしながら読むことに慣れ、目的に応じて読む力を育てる

学年	文字を見て、英語らしい発音やリズムで音読したり、黙読したりする力		必要な情報を読み取る力	読んでおおまかな内容を捉える力	読んで要点を捉える力
1年	●アルファベットを見分けたり、発音したりする【LBF8】 ●文字を正しく読む【Sounds and Letters（帯教材）】	本文を音読したり、黙読したりする【Unit 各Part Listen and Read】	●説明文から、クイズの回答に必要な情報を読み取る【LR1】50語 ●チャットのやり取りから、必要な情報を読み取る【U5】81語 ●イベントの案内から、必要な情報を読み取る【DL5】67語	●身近な人を紹介する文章のおおまかな内容を捉える【U6】47語 ●人物紹介のおおまかな内容を捉える【YCDI2】63語 ●出来事を伝えるはがきのおおまかな内容を捉える【U7】69語 ●物語のあらすじを捉える【LR2】112語	
2年			●メールの用件や、返事が必要なことを読み取る【U3】97語 ●交換留学生2人のメールから、共通点を読み取る【YCDI1】166語 ●グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取る【U4】148語 ●オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取る【DL7】126語	●日記のおおまかな内容を捉える【U1】117語 ●物語のあらすじを捉える【LR1】262語 ●紹介記事のおおまかな内容を捉える【U6】127語 ●インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取る【LR2】377語 ●手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取る【U8】77語 ●説明文のおおまかな内容を捉える【LR3】361語	●（説明文の要点を捉える【LR3】）
3年			●記事から、質問の答えに必要な情報を読み取る【U1】124語 ●レシピから、必要な情報を読み取る【DL3】118語 	●ある人物の手記のおおまかな内容を捉える【U3】175語 ●伝記からその人物の功績をおおまかに捉える【LR1】395語 ●意見文から2人の意見とその理由を捉える【YCDI1】199語 ●プレゼンテーションの原稿の概要を捉える【U5】174語 ●手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取る【U8】148語	●投稿文の要点を捉える【U4】180語 ●説明文の要点を捉える【LR2】458語 ●リポートの要点を捉える【YCDI2】189語 ●スピーチ原稿の要点を捉える【LR3】516語 ●言葉に込められた思いを読み取る【YCDI3】77語

ポイント1　1年の前半は読ませることを急がず、読む機会と読む量が段階的に増えていく設計

ポイント2　読む力を育てる、目的に応じたヒントや設問

読んで要点を捉える活動の例

TIP

長い文章を読むときは、まず、段落ごとの要点を捉えることを意識してみよう。

Read

1. 通りかかったKotaが、記事を読んでいるHajinに話しかけています。文中の（　）に入るものをA ～ Dから選び、記号を書きましょう。

Kota: What are you reading, Hajin?
Hajin: I'm reading an article about (　　).
Kota: Wow, it sounds interesting!

A robots for children　B the relationship between humans and robots
C perfect robots　D the history of robots

3年 Let's Read 2(pp. 56-59)

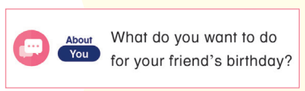
「話すこと（やり取り）」の系統とポイント

帯教材や、継続的な“About You”の活動で、即興的なスピーキングの力を育てる

学年	その場で質問したり、伝え合ったりする力			事実や気持ちを整理して、やり取りする力	聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを伝え合う力
1年	自分のことや興味のあることについて、その場で質問したり、伝え合ったりする【Unit 各 Part Speak】	自分や相手のことについて、その場でやり取りする【Let's Talk!（帯教材）】	●自分と相手の基本的な情報について、その場で伝え合う【LBF】 ●興味のあることなどについてたずねる【U2】 ●やり取りをして、友達の新しい一面を見つける【YCDI1】	●おすすめの場所について、たずねたり伝えたりする【U5】 ●落とし物の持ち主を探すやり取りをする【DL1】／買い物や注文のやり取りをする【DL2】／時刻についてのやり取りをする【DL3】／行き方をたずねたり伝えたりする【DL4】	
2年			●企画への希望や意見を、その場で伝え合う【U2】 	●必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合う【U5】 ●複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合う【U7】 ●地域のPRのために紹介したい名所や名産品について話し合う【YCDI3】 ●電話で、何かを頼んだり応じたりする【DL1】／飲食店で注文をする【DL4】／電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりする【DL5】／体調をたずねたり、助言をしたりする【DL6】	
3年			●音声を聞いて、質問された内容に答える【DL1】	●おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合う【U6】	●聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりする【U2】 ●議題を決めて話し合い、グループの意見をまとめる【YCDI1】 ●スピーチの要点に対する自分の考えを伝え合う【LR3】

ポイント1 題材と自分をつなげて話す “About You”

普段の授業の中で、即興的に自分の考えを伝える力がつくように、Small Talkの話題を“About You”マークを付けて随所に掲載しました。



ポイント2 帯活動で使える即興スピーキング教材 Let's Talk! がパワーアップ！

ご好評いただいた教材の趣旨はそのまま、よりUnitの学習と結びつけて指導しやすいように、話題や紙面の示し方を改善しました。



2年 Let's Talk!（とじ込み6-7）

「話すこと（発表）」の系統とポイント

段階的に、まとまりのある内容を話す力をつける

学年	その場で話す力		事実や気持ちを整理して、まとまりのある内容を話す力		聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを話す力
1年	自分のことや興味のあることについて、その場で話す【Unit 各 Part Speak】	●春休みの出来事を発表する【LBF4】 ●夏休みにすることなどについて、その場で話す【U3】	ストーリーについて、その場で話す【Story Retelling（帯教材）】	●自己紹介をする【LBF7】 ●伝えたい情報を整理して、人物を紹介する【U4】 ●場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明する【U8】 ●学校を紹介する【YCDI3】	
2年				●町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明する【U4】 ●イベントを提案する【YCDI2】	
3年				●伝記の内容を自分の言葉で説明する【LR1】 ●調べたことや自分の考えを、順序立てて発表する【U5】 ●伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをする【U7】	●記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表する【U1】

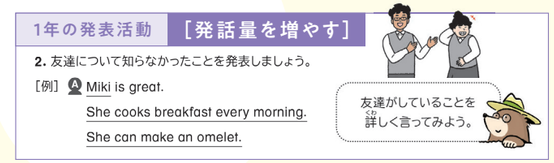
ポイント1 自分の言葉で説明・描写する力を育てる Story Retelling

巻末に、ストーリーの展開に沿った各Unitのイラストを掲載。会話文中心のストーリーを自分の言葉で説明・描写する力を、3年間で継続的に育てます。

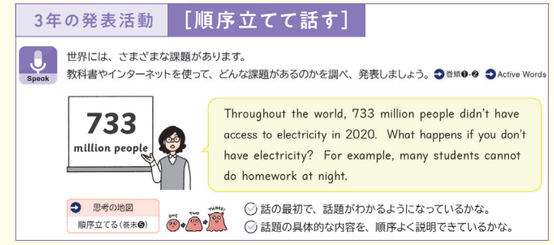


2年 Story Retelling（p. 124）

ポイント2 段階的に、情報を整理する力をつけるバラエティ豊かな発表活動



1年 Unit 6 Part 1（p. 87）



3年 Unit 5 Goal（p. 69）

「書くこと」の系統とポイント

学んだことを生かしながら、自分なりに工夫して書く力を育てる

学年	読まれた文字や語句を活字体で書いたり、語句や表現を書き写したりする力		教科書や辞書などを参考にして、正確に書く力	事実や気持ちを整理して、まとまりのある文章を書く力	聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを書く力
1年	●アルファベットを正しく書く【LBF8】 ●文字を正しく書く【Sounds and Letters（帯教材）】	自分のことや興味のあることに関する表現を書き写す【Unit 各 Part Write】	●自己紹介カードに、自分の情報を書く【U1】	●友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書く【U6】 ●ゲストのすてきなところが伝わる、紹介文を書く【YCDI2】 ●出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く【U7】	
2年			●出来事や感想などを日記に書く【U1】	●用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書く【U3】 ●留学生2人が楽しめる観光プランを書く【YCDI1】 ●わかりやすい文章構成で、紹介記事を書く【U6】 ●意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書く【U8】	
3年			●友達や自分のこれからに贈る言葉を書く【YCDI3】	●留守番電話の用件に返答をする【DL2】 ●説明文の要点に対する自分の考えを書く【LR2】 ●表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書く【Unit 8】	●読んだ手記の感想や考えをレポートに書く【U3】 ●読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書く【U4】 ●講演の内容に対する感想を書く【DL4】 ●自分の取り組みを伝えるリポートを書く【YCDI2】

自分のことや興味のあることについて、教科書などを参考にして書く【Unit 各 Part Write】



ポイント1 UnitのPartでは、「話したことを書く」活動で、書くことに慣れる

2. 友達について知らなかったことを発表しましょう。

［例］ A Miki is great.
She cooks breakfast every morning.
She can make an omelet.



Write About You 話したことを整理して、友達を紹介する文章を書きましょう。 Goal (p. 93)

1年 Unit 6 Part 1 (p. 87)



すらすら書けるようになるよ

- 会話をふり返り、自分が話したことをノートに書こう。
- 英語で言えないことは、日本語やローマ字で書いておこう。

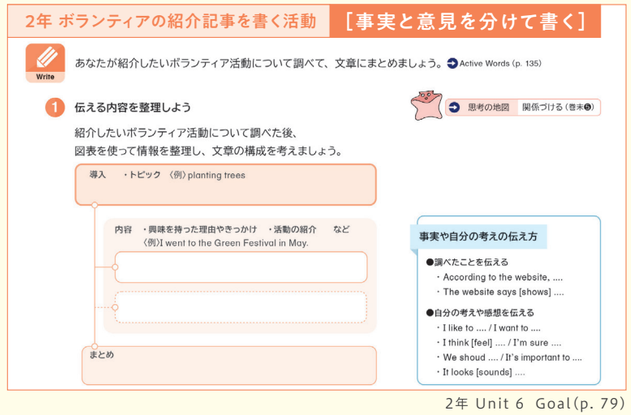
1年 Let's Talk! (とじ込み8)

ポイント2 UnitのGoalでは、参考になる本文と文章構成のガイドによって、書く力を育てる



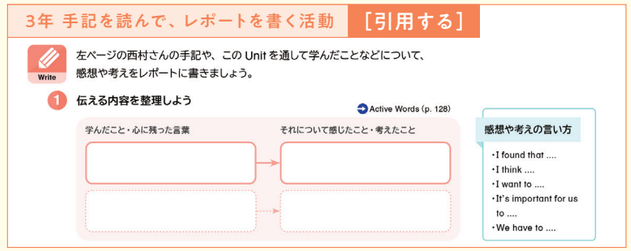
1年 Unit 6 Goal(pp. 92-93)

2年 ボランティアの紹介記事を書く活動 ［事実と意見を分けて書く］



2年 Unit 6 Goal(p. 79)

3年 手記を読んで、レポートを書く活動 ［引用する］



3年 Unit 3 Goal(p. 37)

COLUMN

英語で書く力を伸ばしていくために

Here We Go!には、ストーリーや活動に基づき、生徒が自分の思い・考えを「書きたい！」と思えるヒントが豊富にあります。英語を使って書いたときには、「これを伝えたかったけど、うまく表現できなかった」「ここを間違えていた」と気づくことがとても大切です。間違いを恐れず、そこから学び続けられる、積極的に書く生徒を育てましょう。



羽山 恵
編集委員／獨協大学准教授

新版の特色 2

自ら学ぶ態度が育つ

学び方を工夫・改善するためのガイドが充実



POINT

先生方の教室での声かけを参考に、
生徒の手が止まったときに役立つヒントを選びぬいて掲載し、
自ら取り組みを工夫・改善する
生徒が育つことを目指しました。

Goal 友達のすてきなところを紹介しよう

思・判・表

目的・場面・状況 ALT に自分たちのクラスをもっと好きになってもらうための、紹介冊子を作りましょう。
それぞれ別の友達を紹介する文を書き、クラス全員分の紹介文を完成させましょう。

Nick や Eri の紹介をふり返って、
使えそうな語や表現を探してみよう。

小中連携で!
Phrase Hunt
使える表現を探して、
みんなで共有しよう。

小学校のHere We Go! にも同様のコーナーがあり、学び方がつながります。

Idea Hunt

読んだ本文を自己表現に生かすヒント
Idea Hunt

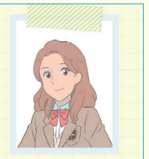
活動の「中間ふり返り」の段階で、既習の本文から語句や表現を探し、自己表現に生かすためのヒントを示します。既習の英文を参考に、自分なりに工夫して表現する力を育てます。



Nick: Tina's my sister.
She's very active.
She has a lot of friends.
She likes singing and dancing.
She always studies hard.
She never gives up.
But these days she's a little quiet.

1年 Unit 6 Part 1(p. 86)

About Tina by Eri





Tina is very active. She
She takes Japanese lessons on weekends.
These days she enjoys writing.
She sometimes texts me in Japanese.
She sometimes works too hard and gets tired,
but she always smiles.
I respect her effort. I like her very much.

1年 Unit 6 Goal(p. 92)

目的に応じた読み方・聞き方をアドバイス
TIPS

活動内容に沿った読み方・聞き方等の例を具体的に示します。
各ページのTIPは、巻末「英語の学び方ガイド」にまとめています。

学び方ガイド 中心となる話題を捉える読み方 (p. 152) ／紹介文のまとめ方 (p. 153)

2行目からは、
Eri が伝えたいことの、
具体的な説明が
書かれているよ。

TIP

Goalにつながるヒント

友達の話の感想や
自分の気持ちも
付け足せるといいね。

Goal

詳しくは本書 p. 09

COLUMN

生徒の学びに寄り添うキャラクターたち

活動のさまざまな場面で
登場し、学びのヒントになる
声かけをします。



モグラ教授 英語の使い方や活動を掘り下げて、皆にアドバイスをするよ。



ノボル 学びの階段をいっしょに登っていこう!



ハッシー 自分の力で目標に到達するための、ハシゴをかけるよ。

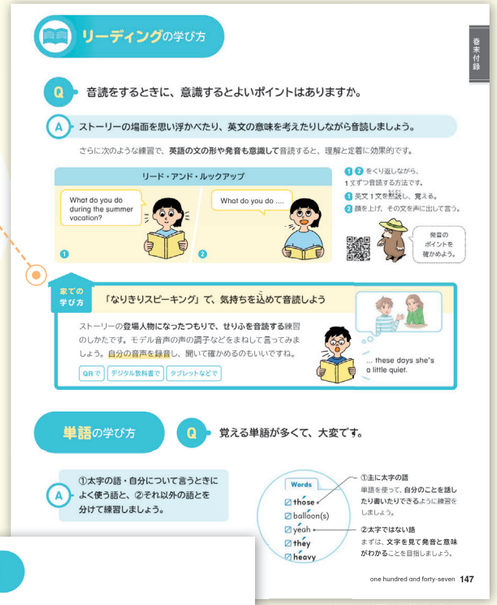


オーピー やわらかい体と頭で、思考法や思考ツールの使い方を紹介するよ。

生徒が悩みやすい学び方に関するアドバイスを紹介

英語の学び方ガイド（巻末付録）

英語の学び方の内容を大幅に拡充し、各学年の巻末に配置しました。
よくある生徒の質問や悩みに、具体的に答えます。



1年 英語の学び方ガイド（p. 147）



1年 英語の学び方ガイド（p. 152）

ポイント 1

家での学び方

家庭学習に関するアドバイスも掲載。教科書を活用した学びをサポートします。



「学び方」トピック一覧

4技能5領域に関することだけでなく、音読のポイントや辞書の使い方など、発達段階に沿った幅広いテーマを選びました。

1年	
リスニングを得意にするには？	聞くこと
音読をするときに意識するポイント	読むこと
単語の覚え方	単語
すらすら英語を話したい	話すこと
何をどう書けばいいのかわからない	書くこと
辞書の使い方	辞書
英語をよりよく使うためのTIPS	各領域

2年	
ゆっくり読めばわかるのに聞き取れない	聞くこと
長い文章を読めるようになりたい	読むこと
英語の文を作るのが苦手	書くこと
やり取りや発表でもっと話したい	話すこと
英語をよりよく使うためのTIPS	各領域

3年	
単語の家での学び方	単語
自分の意見をわかりやすく伝えたい	話すこと
長い英文の書き方	書くこと
英語をよりよく使うためのTIPS	各領域
目的に応じた学び方	各領域
将来に向けた学び方	各領域

ポイント 2

英語をよりよく使うためのTIPS

必要な情報の読み取り方、紹介文の書き方など、活動の中で扱ったTIPSをまとめ、いつでもふり返り、生徒自身が学びに生かすことができるようにしました。

アイデアを広げたり考えを整理したりするためのガイド

思考の地図（後見返し）

各学年の後見返しで、
思考法や思考ツールを紹介します。
各ツールを使うことができる場面や
言語活動の例も示しています。

3年間で紹介する思考ツール一覧

- マッピング
- アウトライニング
- ステップチャート
- マトリックス表
- クラゲチャート
- ベン図
- Yチャート



1年 思考の地図（後見返し4）

ポイント 1

生徒の目線で効果的な使い方を紹介

最初はどう進めようか悩んでいた生徒が、思考ツールを通して考えが整理できた様子を示しています。生徒の「自分にもできそう」という気持ちを引き出します。

主体的に学習に取り組む態度を育てる、学びの基本サイクルを提示

学びのサイクル（前見返し）

各学年の巻頭で、教科書を使って
どのように学びのサイクルを回していくとよいかを
具体的に把握することができます。

1年「どのように英語を学ぶのでしょうか。」（前見返し4）

新版の特色 3

学びを社会生活や未来につなぐ

「自分ごと」にできる題材



















POINT

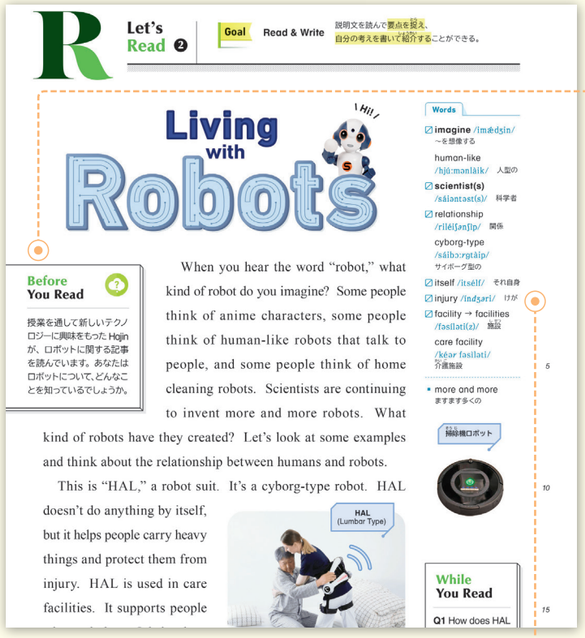
世界で活躍する同世代の人物の目線を通して

さまざまな話題に向き合うことで、現代社会が抱えるローカルおよびグローバルな課題に気づき、よりよい社会の形成に主体的に参画する態度が育つようにしました。

読むことを通して多様な話題に触れ、自分の考えをもつ

Let's Read

まとまった分量の文章を読み、目的に応じた読み方を身につけるための教材です。
読むことそのものの楽しさを味わうことを中心とした内容と、キャリア・情報・科学・福祉・平和・地球環境など現代的な課題について深く考えることを中心とした内容とを、バランスよく選定しました。

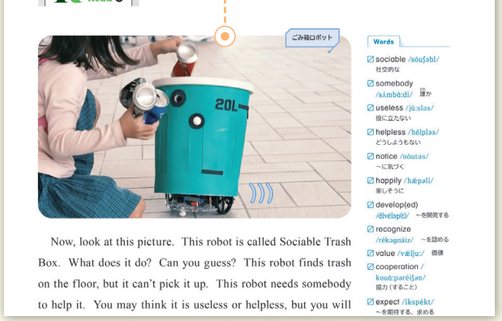


ポイント1 Before You Read

英文を読む前に、生徒の知識を生かして内容を予想させたり読む目的を与えたりする問いを用意し、題材を「自分ごと」にできるよう工夫しています。

ポイント2 生徒の思考を揺さぶる話題

この教材では、何かが「できる」ロボットだけでなく、できないことがある「弱い」ロボットを紹介します。人とロボットの関わり方について、多様な考えがあることを伝えます。



3年 Let's Read 2 Living with Robots(pp. 56-59)

ポイント3 NEW

Let's Readでは、新出語句に訳語を併記し、読むことに集中できるようにしました。

- itself /itsélf/ それ自身
- injury /ɪndʒəri/ けが
- facility → facilities /fəsíləti(z)/ 施設

さらに多様な文化や価値観に触れる

Let's Read More

各学年の巻末に1~3本の付録の読み物教材を配置。
学習段階に応じて活用できます。



2年 Let's Read More 2 Ainu, My Voice(p. 120)

実社会の言語使用場面で役立つ力を身につける

Daily Life

「注文」「道案内」など、場面特有の英語表現を学ぶことができます。また、イベントのチラシから必要な情報を読み取る活動など、外部試験への対応も意識して教材を配列しています。



1年 Daily Life 3「バス停」(p. 94)

ポイント1 目的・場面・状況

話すこと（やり取り）の活動では、日本を訪れた観光客を手助けする場面や状況の活動を多く設定しました。

ポイント2 領域統合型の活動を設定

3年生では、「聞いたことをもとに書く」など、領域統合型の活動を設定しています。高校入試やそのほかの外部試験への対応も意識した活動形式です。



3年 Daily Life 2「留守番電話」(p. 28)

Daily Life一覧

学年	単元	題材	重点化領域
1年	Daily Life 1	落とし物（Whose ～?）	話
	Daily Life 2	注文（Which ～? / How much ～? ほか）	話
	Daily Life 3	バス停（What time ～?）	話
	Daily Life 4	道案内（How ～? / How long ～?）	話
	Daily Life 5	イベントの案内（必要な情報を読み取る）	読
2年	Daily Life 1	電話（This is ～. / Can you ～?）	話
	Daily Life 2	ラジオのニュース（聞いて概要を捉える）	聞
	Daily Life 3	アナウンス（必要な情報を聞き取る）	聞
	Daily Life 4	レストラン（Shall I ～? / Would you like ～?）	話
	Daily Life 5	電車の乗り換え（May I ～? / how to ～ほか）	話
	Daily Life 6	体調不良（should）	話
	Daily Life 7	オンラインツアー（必要な情報を読み取る）	読
3年	Daily Life 1	計画を立てよう（音声にその場で答える）	聞 話
	Daily Life 2	留守番電話（用件を把握し、返答する）	聞 書
	Daily Life 3	レシピ（必要な情報を読み取る）	読
	Daily Life 4	講演（聞いて概要を捉え、感想を書く）	聞 書

世界を多様な視点で見つめ、多文化・多言語共生の意識を育む

World Tour

「世界を変える若者たち」「世界のいろいろな英語」など、世界の国々やそこで暮らす人々の多様さに、映像や音声を通して気づかせることを目的とした付録教材です。多文化共生社会の担い手となる生徒の心を育みます。

ポイント1 同世代の人物を紹介

生徒と同世代の人物を紹介するページを各学年に設定しています。話題への興味・関心を高め、自分の生活や考えと比べながら、主体的に学習に取り組むことができます。

2年 World Tour 2 (p. 90)



YOYOKAさん

2009年生まれ。北海道石狩市出身。8歳のとき、アメリカのコンテストへの応募動画をきっかけに、世界的に注目されるようになった。

3年 World Tour 1 (p. 46)



マズーン・メレハンさん

シリア出身。紛争により13歳のとき難民となる。19歳で最年少のユニセフ親善大使となり、教育活動を行う。

ポイント2 動画を活用した教材にパワーアップ!

多くの生徒が日常的に行っている「動画を視聴する」ことを英語の学習に取り入れた教材です。映像を手がかりに、推測をはたらかせながら内容を理解するという、これからの学びに必要なスキルを養います。



2年 World Tour 2 Working Around the World (p. 90)



Here We Go! では、小・中学校ともに、
実在する同世代の人物の声や考え方に触れ、
多様な文化や価値観を学ぶ機会を大切にしています。

加賀田 哲也 小学校教科書 Here We Go! 編集代表／中学校教科書 編集委員／大阪教育大学教授

現代社会の多様な課題に気づく

SDGsや他教科に関わる題材

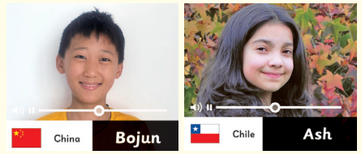
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な社会について自らが考え、
行動を起こすきっかけとなるように、
SDGsに関する題材を幅広く取り上げました。

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)

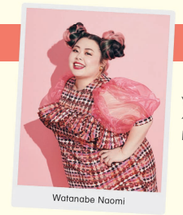
1年

自分と他者



World Tour 1, 2 世界の中学生①②


Unit 4 Our New Friend



You Can Do It! 2
ゲストの魅力を伝えるMCになろう

You Can Do It! 1
友達の新しい一面を見つけよう

生活・慣習・行事


Unit 5 Hi, David!


Unit 7
The New Year in Japan

You Can Do It! 3
動画で学校の魅力を紹介しよう

Let's Read More
My Japanese Lessons

外国の物語


1年 Let's Read 2
The Lion and the Mouse


2年 Let's Read 1
The Cookies


3年 Let's Read More 3
The Adventures of Tom Sawyer

2年

全ての人に安心・安全なまちづくり　防災　福祉　社会　総合


Unit 4 Tour in Singapore



Unit 5 How Do We Stay Safe?


Unit 6 Guide Dogs





You Can Do It! 2
誰もが楽しめるイベントを提案しよう

郷土・伝統文化　地域発信　社会　美術



You Can Do It! 3 かるたで地域のPRをしよう

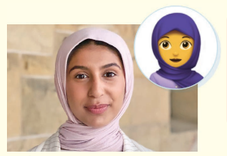

Let's Read More 2 Ainu, My Voice


Let's Read More 1
Plastic Food Samples


Daily Life 7
オンラインツアー

You Can Do It! 1 「わが町観光プラン」をおすすめしよう
World Tour 3 New Seven Wonders of the World

多言語・多文化社会　国語　社会


Let's Read 3 Emojis—From Japan to the World

World Tour 1
English Around the World
Unit 4
Tour in Singapore

キャリア　社会参加　総合

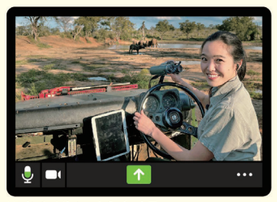


World Tour 2
Working Around the World


Let's Read 2
Meet Hanyu Yuzuru

3年

環境保護・生物多様性　理科


Unit 1 Virtual Safari Tour


Daily Life 4 講演



Let's Read 3 Changing the World

平和　社会


Unit 3 Lessons From Hiroshima



World Tour 1
Speak Up!

科学技術　情報化社会　総合


Unit 4 AI Technology and Language


Let's Read 2 Living with Robots

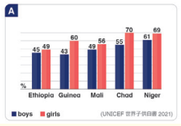


人権・平等・公正　社会　道徳


Let's Read 1 Visas for 6,000 Lives


Let's Read More 2 Fight for Equality





Unit 5 My Dreams for the Future

World Tour 2
If the World Were a Village of 100 People


Let's Read More 1 Elections in Norway


Unit 5 My Dreams for the Future


You Can Do It! 2
持続可能な社会に向けリポートしよう

学校現場での 課題 に対応した 教科書の工夫等

課題1 » 小中接続

詳しくは内容解説資料「小中連携ガイド」をご覧ください。

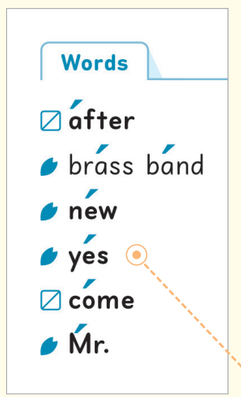


Q 小学校の教科書を見て、生徒が学んできたことを確かめる余裕がありません。

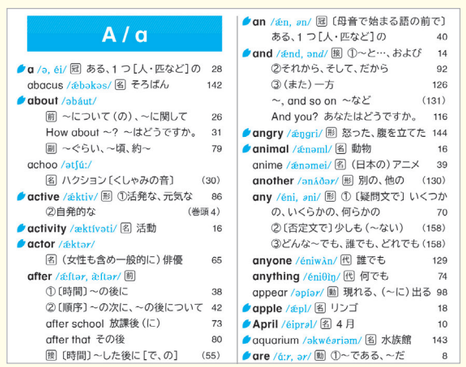
A 小学校で学習した語句・表現に マークを付けて、ひと目でわかるようにしています。



●Unit側注



●巻末Word List



●基本文のまとめ

Unit 4-1	☐ **This is** Ms. Thusi. **She's** our English teacher. ☐ **That's** Mr. Hoshino. **He's** our P.E. teacher.
Unit 4-2	☐ **Who's** that? —He's **a new student**.
Unit 4-3	☐ **Is** this our classroom? —Yes, it **is**. / No, it **isn't**. ☐ This **is not** our classroom.
DL 1	☐ **Whose** pencil case is that? ☐ **Whose** is it?
Unit 5-1	☐ **Turn** on your camera. ☐ **Don't be** shy. ☐ **Let's begin**.

ポイント1 新版では、巻末だけでなく教材中でも **小学校で学んだ語句を確認できる** ように

A 小中接続期の教材Let's Be Friends! で、小学校の学びをふり返り、生徒が「できること」「できつつあること」を確かめられるようにしました。





1年 Let's Be Friends! 5, 7(p.13, pp. 16-17)

ポイント2 Let's Be Friends!は **自己紹介中心**

Q 生徒たちは、小学校の授業とのギャップに戸惑っているようです。英語が嫌いになってしまわないか心配です。



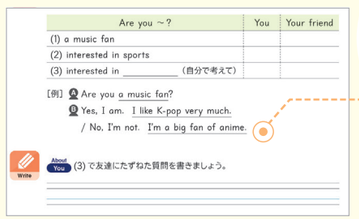
A 1年のUnit 3までを読み書きの準備期間とし、ストーリーを楽しみながら文字や文法の学習に慣れていくことができるようにしました。



ポイント3 Unit 1～3の本文を **マンガのようなレイアウト** にして、**読む負荷をできるだけ少なく**



1年 Unit 2 Part 1(p. 38)



1年 Unit 2 Part 1(p. 39)

ポイント4 Unit 1～3は **手書き体フォントと4線で、表現を書き写しやすく**



1年 Unit 2「Eri and Kotaと学ぶ基本文」(QRコンテンツ)

ポイント5 基本文も **アニメーションで楽しく導入**

課題2 » 高校入試などで求められる力の育成

「令和5年度 中学校英語 全国学力・学習状況調査問題 高校入試問題 早わかりガイド」もぜひご覧ください！

☑ 長文化するリーディング問題への対応



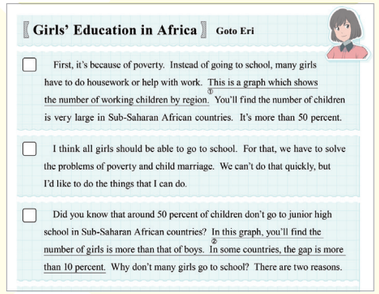
Q 長文化するリーディング問題に対応できる力がつくのかが心配です。

A 「高速処理」する力、つまり多量の英文からできるだけ短い時間で概要や要点を捉える読み方は、Unit の Goal で練習できます。



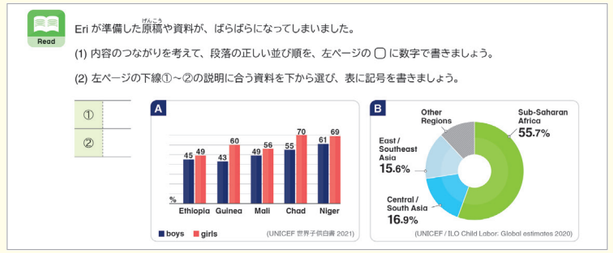
ポイント1 概要を捉える読み方

3年 Unit 5 Goal「世界の課題について考えよう」(pp. 68-69)



『Girls' Education in Africa』 Goto Eri

- First, it's because of poverty. Instead of going to school, many girls have to do housework or help with work. This is a graph which shows the number of working children by region. You'll find the number of children is very large in Sub-Saharan African countries. It's more than 50 percent.
- I think all girls should be able to go to school. For that, we have to solve the problems of poverty and child marriage. We can't do that quickly, but I'd like to do the things that I can do.
- Did you know that around 50 percent of children don't go to junior high school in Sub-Saharan African countries? In this graph, you'll find the number of girls is more than that of boys. In some countries, the gap is more than 10 percent. Why don't many girls go to school? There are two reasons.



Read

Eri が準備した原稿や資料が、ばらばらになってしまいました。

(1) 内容のつながりを考えて、段落の正しい並び順を、左ページの ▢ に数字で書きましょう。

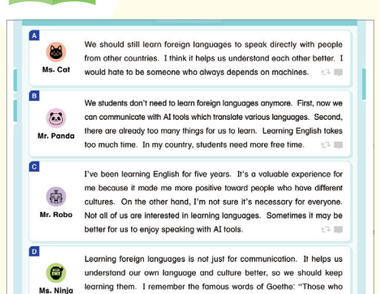
(2) 左ページの下線①～②の説明に合う資料を下から選び、表に記号を書きましょう。

①
②

CAN-DO プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる。 CAN-DO List (R-2)

ポイント2 要点を捉える読み方

3年 Unit 4 Goal「投稿文を読んで、自分の意見を書こう」(pp. 54-55)

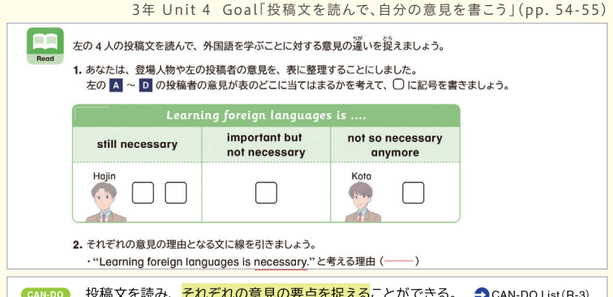


A Ms. Cat
We should still learn foreign languages to speak directly with people from other countries. I think it helps us understand each other better. I would hate to be someone who always depends on machines.

B Mr. Panda
We students don't need to learn foreign languages anymore. First, now we can communicate with AI tools which translate various languages. Second, there are already too many things for us to learn. Learning English takes too much time. In my country, students need more free time.

C Mr. Robo
I've been learning English for five years. It's a valuable experience for me because it made me more positive toward people who have different cultures. On the other hand, I'm not sure it's necessary for everyone. Not all of us are interested in learning languages. Sometimes it may be better for us to enjoy speaking with AI tools.

D Ms. Ninja
Learning foreign languages is not just for communication. It helps us understand our own language and culture better, so we should keep learning them. I remember the famous words of Goethe: "Those who know nothing of foreign languages know nothing of their own."



Read

左の 4 人の投稿文を読んで、外国語を学ぶことに対する意見の違いを捉えましょう。

1. あなたは、登場人物や左の投稿者の意見を、表に整理することにしました。
左の A ～ D の投稿者の意見が表のどこに当てはまるかを考えて、▢ に記号を書きましょう。

Learning foreign languages is		
still necessary	important but not necessary	not so necessary anymore
Hajin ▢ ▢	▢	Kota ▢

2. それぞれの意見の理由となる文に線を引きましょう。
・"Learning foreign languages is necessary." と考える理由 (——)

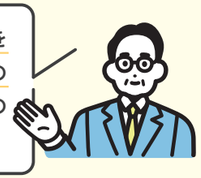
CAN-DO 投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる。 CAN-DO List (R-3)

☑ 生徒自身の考えとその理由を問う問題への対応

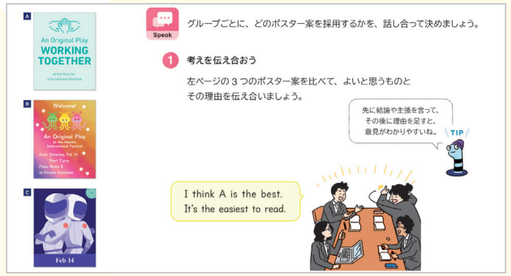


Q 自分の考えとその理由を話したり書いたりする問題を前にすると、固まってしまう生徒が多いのですが…。

A 考えとその理由を伝える力を段階的に育てていくための活動および英語表現を、教科書の随所に掲載しました。

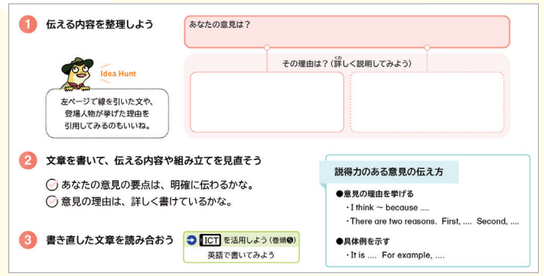


ポイント1 話す活動でも



2年 Unit 7 Goal「ポスター案について、自分の意見を伝えよう」(pp. 98-99)

ポイント2 書く活動でも



3年 Unit 4 Goal「投稿文を読んで、自分の意見を書こう」(p. 55)

☑ 即興で話すテストへの対応

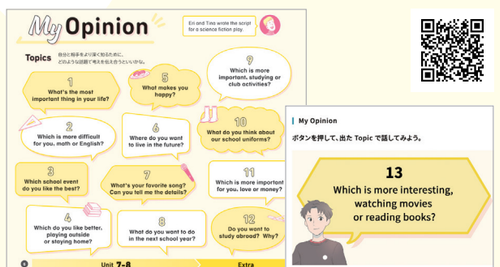


Q 即興で話すテストに対応する力を、どのようにつけさせたらよいですか。

A 授業で学んだことを、QR コンテンツを活用して、家庭でもくり返し練習できるようにしました。



ポイント1 Let's Talk! の質問がランダムに提示される、QR コンテンツ



Let's Talk! ルーレット (QR コンテンツ)

ポイント2 全国学力・学習状況調査などを参考にしたスピーキングテスト



You Can Do It! 関連教材
「テストにトライ！」
(QR コンテンツ)

課題3 » 令和の日本型学校教育とICT活用



Q GIGAスクール構想で導入された学習者用端末を十分に活用できていません。どのような使い方が、英語の学習に効果的でしょうか。

A 新版教科書では、ICTを活用した学習のイメージを教科書巻頭に示しつつ、目的や活動の内容に応じた具体的な活用アイデアを教材内でも紹介しています。





2年 ICTを活用しよう（前見返し5）

ICTの活用方法や留意点

一人一台端末の活用方法や、タブレットなどを使うときに気をつけることを、具体的に動画で紹介します。

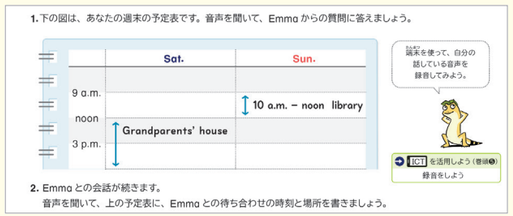


☑ 個別最適な学び

ポイント1 自分のペースでくり返し活用できるQRコンテンツを多数用意

▶詳しくは本書p. 38

ポイント2 録音機能を使った活動を設定



3年 Daily Life 1「計画を立てよう」(p. 18)

ポイント3 オンラインの辞書などの活用を提案

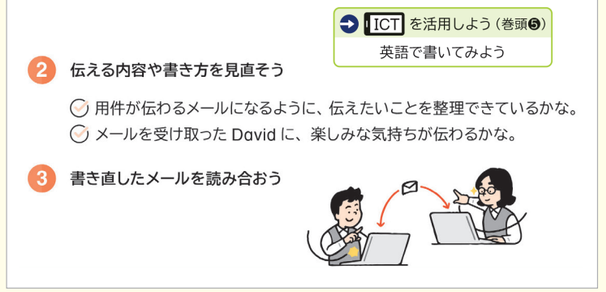


1年 英語の学び方ガイド「辞書の使い方」(p. 150)

☑ 協働的な学び

ポイント1 社会に出てからも役立つ、ICTを活用した発信や発表活動を設定

●タイピング



2年 Unit 3 Goal「メールの返事を書こう」(p. 39)

●プレゼンテーション



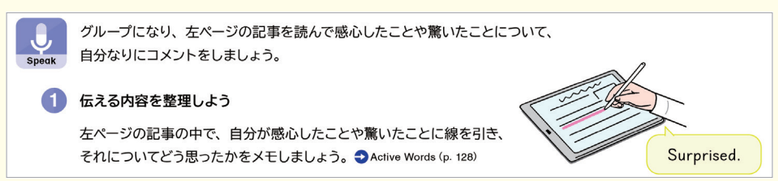
2年 Unit 5 Goal「防災バッグの中身を決めよう」(p. 67)

ポイント2 録画をしてふり返り、学び合う場面を設定



1年 You Can Do It! 3「動画で学校の魅力を紹介しよう」(p. 129)

ポイント3 デジタル教科書に線を引いて、読んだことをもとに考えを共有する活動を設定



3年 Unit 1 Goal「記事を読んで、コメントをしよう」(p. 17)

読んだことなどを引用して、自分の考えを伝える力を養います

COLUMN

Here We Go! における ICT活用の考え方

2019年に始まったGIGAスクール構想により、一人一台端末環境が実現しました。しかし、せっかくの端末を十分に活用できていないのではないかという声も聞かれます。

「どう活用すれば、英語の力がつくのか。」
「どう活用すれば、学びが豊かになるのか。」

このような先生方の問いにお答えできるよう、言語活動の中での効果的な活用方法を追究し、いつも負担なく使えて、いろいろな活動に生かせるアイデアを随所に掲載しました。

課題4 » その他の今日的教育課題に対する編集上の配慮

ポイント1 書体の選定における配慮

●英語の書体は発達段階に配慮

1年で、小学校英語教科書で使われる手書き文字に近い書体からブロック体につなげます。また、1年後半から2年をセリフ体への移行期として、実際の英語の表記や外部試験等でよく使われるセリフ体に少しずつ慣れることができるようにしました。

小中接続期	» 1年	» 2年
a	a	a
手書き体	ブロック体	セリフ体
光村図書が独自に開発したフォントです。	1年後半は移行期として、Let's Read等の教材にセリフ体を使用しました。	

●日本語の読みやすさへの配慮

ほぼ全ての日本語の文に、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。

UD書体

students

数えられる名詞は、1つか2つ以上かで表し方が変わる。複数の場合には、語尾に -s か -es を付ける。
英語のしくみ (p. 157)

ポイント2 特別支援教育への配慮

特別支援を必要とする生徒にできる限りの配慮をし、全ての生徒が使いやすい教科書を目指しました。特別支援教育の観点から、全ページにわたり、専門家の指導・校閲を受けています。

●学習の流れがわかりやすい

学習の流れをそのまま紙面化し、情報のまとまりごとに余白や線で区切ったレイアウトにより、学ぶことが直感的にわかるようにしました。

●大切なことがわかりやすい

基本文	相手のすること・好きなことなどをたずねる。	Do you ...?
I play the trumpet. ▶ **Do** you play an instrument? — Yes, I **do**. / No, I **don't**.		play や like などの一般動詞の疑問文では、do を主語の前に置きます。答えるときは、yes や no を使います。 Active Grammar (p. 57)

「基本文」など学習上重要な箇所は太い線ではっきり囲んで、他の情報と区別できるようにしました。

ポイント3 色覚の多様性への配慮

色覚特性のある生徒が、色を識別できないことが理由で学習に支障をきたすことがないよう、全ページにわたり、カラーユニバーサルデザインの専門家の指導・校閲を受けています。

●色だけでなく、形でも識別できる

肯定文		Tina	plays	the drums.
疑問文	Does	she	play	the trumpet?
	— Yes, **she does**. / No, she **does not**.			
否定文		She	does not play	the trumpet.

主語と動詞を、色だけでなく形でも識別できるようにしました。

ポイント4 人権上の配慮

人権教育に配慮した教材の選定や学習活動を行うために、次のような点に配慮しました。

■取り上げる題材や登場人物などについて、性別や身体的特徴、年齢、人種、国、地域などに極端な偏りがないよう配慮しました。

性別を特定しない単数(1人)の代名詞として、theyが使われることもあります。
1年 Active Grammar 2(p. 71)

■旧来の固定的イメージにつながるような表現をできるだけ避け、家事をする男性や働く女性の姿などを取り上げました。









教科書基本データ

週4時間(年間140時間)の授業に対応した、適切なUnit数や語数を設定しました。

Unit数・配当時数等データ

			1年	2年	3年	合計
ページ数			176	176	176	528
Unit数			8	8	8	24
配当時数の目安	主教材	Let's Be Friends!	8	—	—	8
		Unit	71	72	68	211
		You Can Do It!	6	6	6	18
	小教材	Daily Life	5	7	4	16
		Let's Read	3	11	12	26
		Active Grammar	7	8	5	20
	合計時数		100	104	95	299
QRコンテンツの数			337	228	194	759

語彙データ

		1年	2年	3年	合計	小・中合計
学習語	小学校既習語※	490	72	16	578	2237
	中学校初出語	426	614	619	1659	
学習語のうち太字の語	小学校既習語	373	41	3	417	901
	中学校初出語	231	172	81	484	

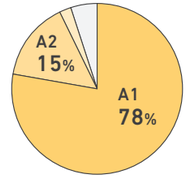
※小学校既習語について
- 光村図書の小学校英語教科書での学習語のうち622語を「小学校学習語」と定めました。このうち中学校教科書では578語を掲載しました。
- 小学校での単語の扱いは、読み・書きを十分に扱い定着を目指すものではないため、本教科書では小学校既習語もWords欄に示し、改めて学習することを促します。

上記に加え、付録の読み物教材などで150語程度の語彙に触れることができます。

太字の語=「発信語彙(使えるようにしたい語)」選定にあたって

「発信語彙(特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語)」の選定にあたっては、複数のコーパスやCEFR-Jの語彙リスト、小学校英語の語彙リスト、過去の検定教科書掲載語などを元にした独自のリストを作成し、その中の上位900語程度を太字の語として選定しました。太字の語の割合を少なくして、学習負担を軽減します。

太字の語のCEFR-Jランク別割合



太字の語のうち8割近くがA1の語です。

- A1:78%(704語)
- A2:15%(133語)
- B1:2%(17語)
- その他:5%(47語)

※不規則動詞の活用形などCEFR-Jのリストにない語を「その他」に分類しました。

Words

- email /íːmèil/
- flight /flάit/
- pack(ing) /pǽk(iŋ)/
- week /wíːk/

「意味がわかるだけでよい語」は細字で示しています。

学習者用教材

「個別最適な学び」をサポートします。

ラインナップおよび内容・仕様は変更になる可能性がございます。

QRコンテンツ

▶詳しくは内容解説資料「QRコンテンツガイド」をご覧ください。

生徒一人ひとりが学びの目的に合わせて活用できるコンテンツが750点以上。
授業だけでなく、家庭での学習にも活用できます。

●英語を使う練習をする



Active Grammar ミニアニメ



スピーキングテスト

●多様な世界を知る



1年 World Tour 2 動画

●学び方を確かめる



Story Retellingモデル動画

●小学校の学びをふり返る



アルファベットの書き方動画

●今日的な課題を考える

■タブレットなどを使うときは
■防災
■不安や悩みに向き合う
■学校で使う日本語
■情報モラル
■自分らしさを認め合う
■SDGs



情報モラル
「インターネットを上手に活用するために」

学習者用デジタル教科書

紙の教科書と同一の内容をデジタル化し、ネイティブスピーカーによる音声を収録。特別な支援を要する生徒のために、ふりがな表示や機械音声での読み上げなどの機能も搭載しています。



ポイント

750点以上のQRコンテンツに紙面から直接アクセス

教科書とコンテンツがシームレスにつながります。

QR 動画

●音声の速度調節機能



再生速度を13段階から選び、自分のペースで音声を聞くことができます。

●ハイライト表示機能



音声で読み上げている箇所をハイライト（強調）表示することで、「どこを読んでいるのか」がわかります。

▶デジタル教科書のウェブ体験版は、こちらからご覧いただけます。
タブレット端末で読み取ってください。スマートフォンでは、機種によってご利用いただけないコンテンツがあります。

学習者用デジタル教科書＋教材

学習者用デジタル教科書に、個別最適な学びや協働的な学びをさらに深めるコンテンツや機能を追加しました。

●フラッシュカード



わからなかった語句を振り分けて復習する機能や、オリジナルカードセット作成機能を搭載。個別最適な語彙学習を支えます。

●人物別音声オフ機能



実写ドラマの人物の音声をオフにして、登場人物になりきって音読することができる機能です。ペアやグループで行う役割読みの活動で、音読の質が高まります。

ラウンドシステム・ワークブック

「ラウンドシステム」の授業にお使いいただけるワークシート集です。





学習サブノート



新出語句や基本文の確認をはじめ、授業で学んだことを自由に書き込み、自分なりのまとめや整理が可能な学習ノートです。

拡大教科書

弱視の生徒の学習負担を軽減するため、文字や画像を大きくした教科書です。単純に拡大するのではなく、教材内容を損なわないように再編成しています。拡大教科書は、特別支援を要する生徒の指導にも有効とされています。

指導書・指導用教材

日々の授業づくりと、
先生の働き方改革をサポートします。

ラインナップおよび内容・仕様は変更になる可能性がございます。

指導書セット（Teacher's Manual）

Teacher's Book（朱書編）	教科書の紙面上に文法・語句の解説や、訳例・解答例、音声指導のポイントを記載。 英語でのやり取りや発問例等も豊富に掲載しています。　※別売あり
指導・評価編	年間指導計画や指導案を掲載。また、指導に生かせる評価の方法や評価基準など、 先生方が知りたい情報を１冊にまとめています。
解説編	訳例や解答例、文法・語法の解説、題材関連情報などを掲載した冊子です。
ワークシート編	教科書の各単元に対応した、日々の授業を支えるワークシートを掲載。 PDFのほか、加工可能なWordのファイルもデータDVDに収録しています。
ラウンドシステム・ガイドブック	教科書のストーリーを最大限に活用した指導法「ラウンドシステム」の授業の すすめ方や指導のポイントを紹介した冊子です。
デジタル教科書・教材活用ガイド	学習者用や指導者用デジタル教科書・教材を授業に活用する際のヒントを 掲載した冊子です。
データDVD	年間指導計画や本文、語彙リスト、評価テスト問題例、ストーリーのイラスト等の データを収録しています。

NEW

ポイント

指導サポートウェブサイト

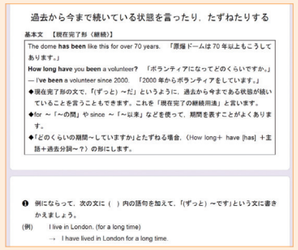
日々の授業づくりに役立つコンテンツを
先生のニーズに合わせて
随時タイムリーにアップロードする予定です。



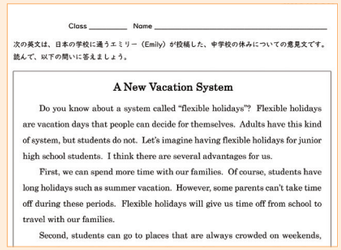
指導サポート動画「Unit扉ページのねらいと使い方」

［主な収録内容］

- 音声データ
- 指導サポート動画
- 評価基準表
- 補充用ワークシート
- Googleフォーム活用コンテンツ
- 役立つリンク集　など



Google フォーム活用コンテンツ

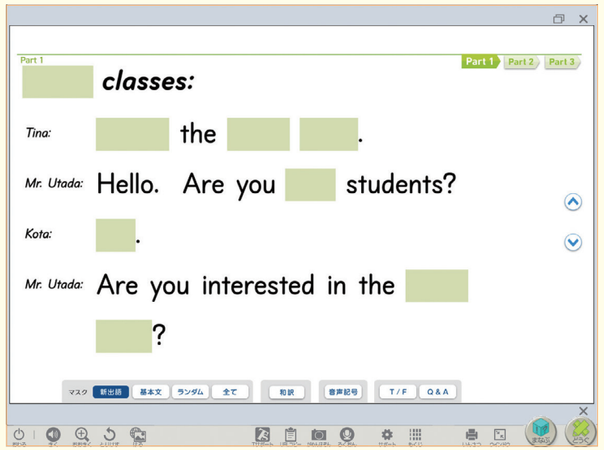


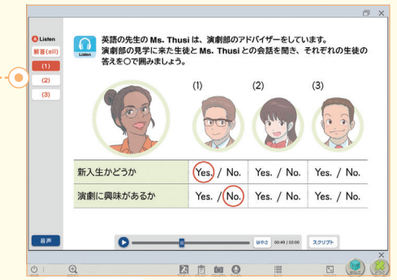
補充用リーディング・ワークシート

●詳しくは内容解説資料「指導書・デジタル教科書・教材のご案内」をご覧ください。

指導者用デジタル教科書（教材）

音声再生やテキスト表示をはじめとする多様な機能やコンテンツを搭載し、授業準備の負担を軽減します。





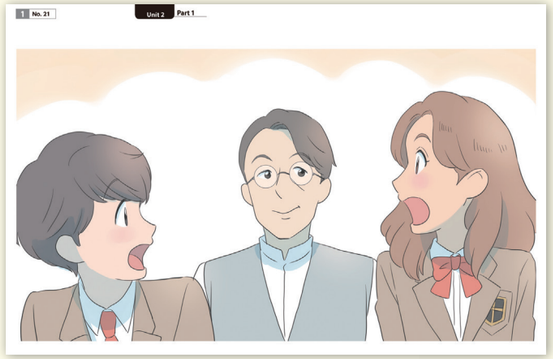
ポイント

解答表示機能

問題文を大きく投影しながら、リスニング活動を行うことができます。解答表示機能付きで、読み上げる英文のスクリプト表示もできます。

ピクチャーカード

教科書のイラストや資料写真などを
大判化した提示用教材。
裏面には対応する本文などを掲載しています。



フラッシュカード

教科書の新出語句（単語・熟語）を
掲載順に収録し、大判化した提示用教材。
裏面には日本語訳などを掲載しています。



38 光村 中学校外国語科
英語038-72 第1学年用



中学校生活が始まる。さあ、英語で伝え合おう。間違いを恐れずに。

38 光村 中学校外国語科
英語038-82 第2学年用



シンガポールを訪れたKotaたち。一歩踏み出し、世界の広さを感じよう。

38 光村 中学校外国語科
英語038-92 第3学年用



4人の夢や希望を乗せた紙飛行機が飛んでいく。ともに未来を切り開こう。

新版 *Here We Go!* の発行にあたって

「ストーリーで楽しく学び、さまざまな言語活動を通して力をつける」のが、この教科書のいいところです。さらに新版では、現行版をお使いの先生方の授業にヒントを得て、「学び方を学び、主体的な態度が育つ教科書」を目指しました。

太田 洋　編集代表／東京家政大学教授



[著作関係者]

太田 洋　東京家政大学教授

小泉 仁　星槎大学特任教授

赤嶺美奈子　沖縄県国頭郡伊江村立西小学校校長
阿部 卓　神奈川県横浜市立義務教育学校 西金沢学園後期課程教諭
大和田和治　立命館大学教授
折橋晃美　長野県佐久市立野沢小学校・高瀬小学校・平根小学校教諭
加賀田哲也　大阪教育大学教授
神白哲史　専修大学准教授
金原瑞人　法政大学教授
上山晋平　広島県福山市立福山中・高等学校教諭
河合光治　神奈川県相模原市立上鶴間中学校 総括教諭
向後秀明　敬愛大学教授
小松篤史　神奈川県横浜市立西中学校教諭
杉内光成　獨協埼玉中学高等学校教諭
関 紀子　元千葉県千葉市立幕張南小学校校長
関谷美佳子　秋田県南秋田郡五城目町立五城目第一中学校教諭
染谷藤重　京都教育大学准教授
田頭憲二　東京家政大学准教授
東後昌弘　立教大学兼任講師
中川右也　三重大学准教授
長沼君主　東海大学教授
西村秀之　玉川大学准教授
橋本慎一　神奈川県川崎市立菅中学校教頭
畑中 豊　福島県いわき市立藤間中学校教諭
羽山 恵　獨協大学准教授
平山朝子　トキワ松学園中学校高等学校教諭
吹原顕子　大阪商業大学准教授
本田勝久　千葉大学教授
宮﨑瑞之　早稲田大学非常勤講師
山本丁友　神奈川県横浜市立本牧中学校教諭
米田 進　前秋田県教育委員会教育長
和田憲明　姫路大学教授

光村図書出版株式会社編集部

Anthony P. Newell　早稲田大学名誉教授
Marc Helgesen　宮城学院女子大学名誉教授
Jeffrey Matthew Moore　東京農工大学講師

【カラーユニバーサルデザインに関する校閲】
市原恭代　工学院大学准教授 NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)理事

【特別支援教育に関する校閲】
氏間和仁　広島大学大学院教授

【学習のユニバーサルデザインに関する校閲】
小貫 悟　明星大学教授

【防災教育に関する校閲】
木村玲欧　兵庫県立大学教授

【人権に関する校閲】
出口真紀子　上智大学教授

【外国人児童生徒等教育に関する校閲】
浜田麻里　京都教育大学教授

子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、次のような配慮や工夫をしています。

- 全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行いました。
  カラーユニバーサルデザイン／特別支援教育／学習のユニバーサルデザイン／人権教育／外国人児童生徒等教育／防災教育
- 持続可能な開発目標(SDGs)に関連するテーマを幅広く取り上げました。
- 生徒の学習負担を軽減するよう、小学校との接続期の英文には、活字体と書き文字との差異の生じない書体を独自に開発し、使用しています。
- 日本語の文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
- 環境に配慮した紙、植物油インキを使用しました。
- 生徒の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を開発し、使用しました。

内容解説資料

発行者:吉田直樹　発行所:光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9　電話03-3493-2111(代表)
印刷:加藤文明社　デザイン:製作所　イラスト:どいせな　教科書キャラクターデザイン:やぼみ

光村図書ウェブサイト
光村図書

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。

QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

光村図書